

# 変更箇所一覧

章	節	変更点
第3章 状態把握	3. 1 調査・点検の体系	「図解-3.1 調査・点検の種類」に「 <b>詳細調査</b> 」を追加
	3. 2 定期点検の調査・点検手法と項目	<b>新技術を活用した点検技術の試行</b> を追加
	3. 3 調査サイクル	全ての管理目標グループで <b>5年に1回</b> の調査頻度に変更
	3. 4 構造調査の調査・点検手法と項目	構造調査は <b>FWD等たわみ量調査が標準</b> 、開削調査は <b>特異な箇所</b> で実施
第4章 維持管理目標	4. 2 管理目標グループ	管理目標グループは <b>交通量区分毎</b> とし、 <b>N3以下は分類Cへ移行</b>
	4. 3 管理目標値	前回ガイドライン設定値、路面性状値、舗装点検要領等をもとに <b>管理目標値を変更</b>
	4. 4 健全性診断の区分	管理目標値の変更に伴い、健全性診断区分の <b>しきい値を変更</b>
第5章 性能低下予測と評価	5. 2 性能低下予測式のグループ	ひび割れ率のグループは、交通量区分別、工法別、地域別の <b>15式に変更</b>
	5. 3 性能低下予測式	性能低下予測式は、点検データをもとに <b>更新</b>
	5. 4 データ管理	<b>構造調査で得られた路床のCBRデータ</b> もGISに登録。 <b>xROADへの登録</b> を追加
第6章 中長期管理計画の立案	6. 1 維持修繕工法	維持修繕工法マトリックスを <b>更新</b> 、修繕工法の選定フローを <b>新たに作成</b>
	6. 2 維持修繕工法パターンの設定	分類Bの維持修繕工法パターンを <b>更新</b> 、分類Cの維持修繕工法パターンを <b>新たに作成</b>
第8章 モニタリング・事後評価	8. 1 モニタリング	調査サイクルの変更に伴い、本文を「 <b>5年に1回実施する定期点検</b> 」に変更
	8. 2 事後評価	<b>事業実施計画の達成度</b> 、 <b>事業実施の効果検証</b> 、 <b>性能低下予測式の比較検証</b> を追加
第9章 長寿命化への取組	9. 2 アスファルト舗装材料の選定	交通量区分、層毎に使用する <b>アスファルト混合物を変更</b> し、 <b>目標DSを新たに設定</b>
	9. 3 コンクリート舗装材料の選定	<b>コンクリート舗装の適用および検討に関する内容</b> を追加
	9. 4 上層路盤材料の選定	軟弱地盤地域へ適用する <b>上層路盤</b> について検証し、その内容を追加
	9. 5 新技術・新材料	<b>薄層オーバーレイの適用箇所(N6以下)</b> 、 <b>長寿命化舗装</b> に関する内容を追加
	9. 6 計画へのフィードバック	<b>長寿命化舗装</b> 、 <b>新たな点検手法</b> 、 <b>軟弱地盤対策の検証</b> に関する内容を追加